

令和4年8月24日

保護者様

山口大学教育学部附属山口小学校
校長 吉 鶴 修

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

処暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素より本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和4年度全国学力・学習状況調査結果等を下記のとおり、お知らせします。
つきましては、お子様のこれからの学力向上の資料として役立てていただきますようお願いいたします。

なお、この調査結果は学力の一部であることを申し添えます。

記

調査の目的：義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

	平均正答率 (%)			
	附属山口小	山口県平均	令和4年度全国	令和3年度全国
国語	79	65	65.8	64.9
算数	75	63	63.3	70.3
理科	74	64	63.4	

※平成29年度からは、都道府県・市町村等における各区分の平均正答率は、整数値で提供。全国については小数第1位で公表

学習指導要領の内容や領域に応じた平均正答率 (%)

国語		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項
	附属山口小	77.6	66.4	81.3	80.0	89.6
	令和4年度全国	66.3	48.6	66.8	69.2	78.0

算数		数と計算	図形	変化と関係	データの活用
	附属山口小	79.1	77.2	64.6	78.1
	令和4年度全国	69.9	64.2	51.5	68.8

理科		「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域
	附属山口小	63.1	72.2	83.0	80.0
	令和4年度全国	51.7	60.5	75.1	64.8

学力状況の結果について

国語、算数、理科いずれの教科においても、また、それぞれの教科のいずれの内容・領域においても、平均正答率が全国平均を大きく上回っており、学習内容をしっかりと理解していることが分かります。これは、児童自身が学習することの楽しさや意義についてしっかりと実感していることが、学習内容の理解を深め、さらに学習の楽しさや意義について再認識するという好循環が生まれているためと考えています。このことは、本校の特色であり、次のように児童の質問紙の学習に関する項目からも読み取ることができます。

○それぞれの教科に対する好意度

- 「国語の勉強は好きですか」・・・(肯定的回答 本校79.1%・全国59.4%)
「算数の勉強は好きですか」・・・(肯定的回答 本校82.1%・全国62.7%)
「理科の勉強は好きですか」・・・(肯定的回答 本校88.0%・全国79.8%)

○それぞれの教科を学習することの意義理解

- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」・・・(肯定的回答 本校97.0%・全国91.7%)
「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」・・・(肯定的回答 本校97.0%・全国93.3%)
「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」・・・(肯定的回答 本校92.6%・全国77.3%)

○学習の内容理解についての自己評価

- 「国語の授業の内容はよく分かりますか」・・・(肯定的回答 本校95.5%・全国84.1%)
「算数の授業の内容はよく分かりますか」・・・(肯定的回答 本校86.6%・全国81.2%)
「理科の授業の内容はよくわかりますか」・・・(肯定的回答 本校91.0%・全国88.5%)

こうした結果が得られた理由として、どの学年、どの教科においても、子供の問いや思い、子供同士の関わり合いを大切にした授業を積み重ねていることが挙げられると思います。さらに、この積み重ねが、子供を学習の主体者として育てることにつながっているとも考えています。今後も、子供の問いや思いを大切にしながら学習を進め、子供たちの力をさらに高めていきたいと思っています。

質問紙の結果について

○自分で考えながら前向きに取り組んでいる。

- 「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしているか」・・・(肯定的回答 本校97.0%・全国87.2%)
「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しているか」・・・(肯定的回答 本校80.6%・全国72.5%)
「家で自分で計画を立てて勉強しているか」・・・(肯定的回答 本校80.6%・全国71.3%)

○人と関わり合うことに前向きである。

- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」・・・(肯定的回答 本校80.6%・全国73.7%)
「友達と協力するのは楽しいと思うか」・・・(肯定的回答 本校95.5%・全国94.0%)

○人とよりよく関わろうとしている。

- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」・・・(肯定的回答 本校91.0%・全国88.9%)
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」・・・(肯定的回答 本校100%・全国96.8%)

質問紙の項目の中から、肯定的回答が全国より高いもので特徴的なものを示しています。「自分で考えながら前向きに取り組んでいる」「人と関わり合うことに前向きである。」「人とよりよく関わろうとしている」というところは、すばらしいところだと思います。これらの良いところを毎日の生活の中で、我々教師や保護者の皆様が児童一人ひとりをしっかり認め励まし、価値づけていくこと（あなたのここが、〇〇という理由ですばらしいと伝わるように話すこと）が大切だと思います。

日々の生活の中、子供の成長過程において、時には友達とトラブルもあるかもしれません。関わり合うからこそ、良いことも、そうでないことも起こります。トラブルなどは、将来、大人として人と関わり、様々な人の中で生きていく中で避けられない部分があります。これから大人になって自分の力で生きていく児童には、トラブルがあったときにどのように解決していくのか、どのように折り合いをつけるのかについて、学校という集団の中で学び、大きく成長してほしいと願っています。

これからも、『大人になっていく人の成長に携わる』ということを忘れず、「よりよい未来を共に創り出す人間」の育成に向かって、学校・保護者・地域・大学が支援し合えることをめざしたいと思います。

※ 学力状況調査・質問紙の調査結果の詳細については、ホームページに掲載しています。

※ 6年生の個人票については、個人懇談の際に、配付いたします。